

家畜衛生情報

伯耆町金屋谷
電話:62-0140

■今月号のトピックス

1. 今年度の定期検査
2. 入牧前検査の料金変更
3. 口蹄疫発生状況



農場の出入口には、看板を設置し、消石灰を定期的に散布して関係者以外の出入りを制限しましょう。

1 今年度の定期検査

定期検査では、ヨーネ病検査は2年に1回、ブルセラ病と結核病は4年に1回実施しております。

今年度の対象地域と検査項目は下表のとおりです。旧市町村単位です！
(各農家さんで考えると、2年に1回定期検査に伺うこととなりますので、去年検査をしていない農家さんが今年の検査対象となります。)

検査は5月から順次開始していきます。
検査の日時はあらかじめ文書で通知しますので、よろしくお願いします。

●ブルセラ病とヨーネ病

検査当日に採血します

旧市町村
米子市
岸本町
溝口町
会見町

●結核病とヨーネ病

検査当日に採血とツベルクリン注射します
3日後に結核病の判定をします

旧市町村
淀江町
大山町
西伯町

<検査手数料>

ヨーネ病 : 680円/頭

ブルセラ病、結核病 : 240円/頭

※検査手数料は乳代引きとなりますので、よろしくお願いします。

2 入牧前検査の料金変更

今年度から入牧前検査時のBVD・MD(牛ウイルス下痢・粘膜病)の検査料が有料となります。

BVD・MD : 680円/頭 です !

本紙は、「家畜衛生情報ファイル」に綴っておいてください。

3 口蹄疫発生状況

韓国で 口蹄疫 が発生しています！

H27年5月以降、発生はなかったのですが、H28年1月以降、豚で続発している状況です。

2016年3月22日現在

韓国における口蹄疫の発生状況 (2016年1月以降)



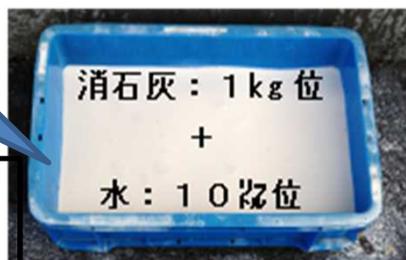
本紙は、「家畜衛生情報ファイル」に綴っております。

【編集後記】

新たな年度がスタートしました。家保では、人事異動に伴いベテランの天下係長が倉吉家保へ、酪農担当の中口技師が中小家畜試験場へ異動しました。県庁から森本課長補佐、新規採用の田島技師（酪農担当）が転入しました。今年度の定期検査は田島技師が担当し、池本と植松は引き続き在籍しておりますので、よろしくお願ひします。（文責：植松）

ウイルスを農場入口でブロック！
消毒槽を設置しましょう！

踏込消毒槽
10%消石灰水



まずは
①自身の農場から！
次へステップアップ
②地域防疫を！